

外部専門家意見



LRQAサステナビリティ株式会社
代表取締役

富田 秀実 氏

サンメッセレポート2023を読んで

編集方針において「想定しているステークホルダー」の一番目の項目が、「社員及びその家族」とされているように読者として社員が強く意識されていることはサンメッセレポートの特徴です。社員が数多く登場し、90周年に向けての意気込みを語る企画は、社員一人一人が改革を加速させ、成功させるための主役であることを再認識させる良い試みといえます。このレポートでも繰り返し述べられているように、サンメッセにとって人財の改革が諸課題を克服するために急務であることは言うまでもありませんが、このレポートをOne Sun Messeを推進する重要なツールとしても位置付けているような印象をまず持ちました。

また、これまで5年以上に渡り、継続的にこの外部意見を述べさせていただいておりますが、その中でこれまで繰り返し指摘してきたセグメント別売り上げ情報の開示が、今後行われる予定とのことで、ついに大きな一歩を踏み出した印象があります。この背景には、これまで取り組んできたポートフォリオ改革が成果を上げつつあるという自信が出てきたような印象を持ちます。

過去の報告書でも掲載されていましたが、サンメッセの環境インパクトの項目で、提供する環境ソリューションがわかりやすく表現され、また、ISO30414に基づく人的資本関連の情報開示がされているなど、ユニークな情報開示が行われているのもレポートの特徴ですが、コーポレートコミュニケーション事業のノウハウが、このように随所に垣間見られることも、改革の成果のように感じます。

また、今回のレポートでは、各事業の説明の中で、事業環境の認識やリスク・機会、強み・課題が明確に開示され、サンメッセの事業の方向性がより明確に理解できるようになったことも評価できます。売り上げも2期連続で最高を更新したことを含め、徐々にこれまでの改革への取り組みの歯車が噛み合ってきていると言えるかもしれません。

印刷業界が直面する劇的な環境変化の中、まだ克服しなくてはならない課題が数多いことはいうまでもありませんが、次のサンメッセレポートでは、従来のサンメッセを超えた新たな姿を提示してくれることを期待します。

外部専門家意見をいただいて

毎年、当社統合報告書に貴重なご意見を賜り、心より御礼申し上げます。富田さまには、当社マテリアリティ特定プロセスのアドバイスをいただいた以前よりご意見をいただき、今回で8回目となります。こうして継続的に当社の進歩をご確認いただくことは非常にありがたく、厳しいご意見もお聞きしながら当社発展に努めてまいりました。

当社は2025年に90周年を迎えようとしています。当面のロードマップは2035年に迎える100周年という節目を見据え、来年度2024年度より先行して90周年事業をスタートさせ、「印刷を、超える。」というテーマのもと全社一丸となった施策につなげてまいります。VUCAと呼ばれるこの時代の中で、我々印刷業界も先行きが危ぶまれています。このような中、大袈裟ではなく生き残りをかけた施策を本気で取り組まねばなりません。

そこで今一度、見つめ直し注力する 이슈が、昨今注目されている人的資本経営となります。当社は創業より、人を大切にする文化醸成に努めてきま

した。しかしこれまでは不明瞭な線引きも多く、見えない資産の可視化を行うという視点がなかったことも事実です。今後、人的資本可視化の優位性を活かし、人を大切にする会社を目指してまいります。

その具体策として、90周年事業において若手社員登用の周年実行委員会を中心に風土改革を行い、手挙げによる「新事業開発プログラム開発」を推し進め、文字通りイノベーション創出にチャレンジします。同時にサクセッションプランを意識した「Sun Messe Passion & Execution Plan」を推進することで次世代リーダー育成のプログラムもスタートさせます。

これらの布石は、当社の課題の一つとして捉えている『事業ポートフォリオ改革』に集約されます。資本政策にも踏み込んだ議論を進めていくことで、来年度にはご期待いただいている当社の大いなる挑戦の姿をお示しできるよう社員一丸となり経営推進してまいります。



取締役専務執行役員
経営企画室長
DX・SX・管理本部・広報・
情報コミュニケーション管掌

田中 信康